

## ■ 委員長報告概要 ■

	令和 5 年 3 月 定例会
	民生福祉常任委員会
議 案 件 名	議案第 4 号 令和 4 年度山陽小野田市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 回）について
概 要	今回の補正は、決算を見込んだ調整であり、歳入歳出ともに 9,249 万 8,000 円を追加し、予算総額を 74 億 6,014 万 8,000 円とするもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	<ul style="list-style-type: none"> <li>*療養給付費について、例年と比較して、この数か月の増加傾向により、9,800 万円増額する。</li> <li>*出産育児一時金について、当初予算では支給件数を 32 件と見込んでいたが、決算を見込んで 20 件として、504 万円を減額する。</li> <li>*歯周病検診委託料について、当初予算では受診者数を 500 人と見込んでいたが、決算を見込んで 150 人として、115 万 5,000 円を減額する。</li> <li>*特定健診の対象者数について、当初予算では集団健診は 1,100 人、個別健診は 3,300 人と見込んでいたが、決算を見込んで、集団健診は 500 人、個別健診は 3,500 人として、149 万 2,000 円を減額する。</li> </ul>
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	議案第 6 号 令和 4 年度山陽小野田市病院事業会計補正予算（第 2 回）について
概 要	今回の補正は、決算を見込み、入院患者数を一日平均 14 人減の 143 人に、外来患者数を一日平均 3 人増の 390 人に変更するなどして調整したものであり、病院事業収益を 1 億 2,207 万 7,000 円増の 48 億 3,805 万 4,000 円、病院事業費用を 3,143 万円増の 49 億 8,929 万円とするもの。これにより、損益計算は 3,881 万 3,000 円の単年度純損失となる。
論点又は審査によって明らかになった事項など	<ul style="list-style-type: none"> <li>*新型コロナウイルス感染者用の確保病床は、令和 4 年 11 月以降は 4 床と見込んでいたが、実際には 15 床であった。なお、令和 5 年 3 月 14 日からはゼロ床となる。</li> <li>*新型コロナウイルス感染症に係る医療従事者の宿泊施設確保に係る経費補助金について、常時 5 人程度が利用していた。</li> <li>*急性期病床の単価は 4 万 5,600 円、地域包括ケア病床の単価は 3 万 6,200 円と見込んでいる。</li> </ul>

討	論	討論なし
結	果	全員賛成で可決

## ■委員長報告概要■

	令和 5 年 3 月定例会
	産業建設常任委員会
議 案 件 名	議案第 3 号 令和 4 年度山陽小野田市駐車場事業特別会計補正予算（第 2 回）について
概 要	今回の補正は、主に駐車場使用料の増収に伴うもので、歳入歳出ともに 604 万円増額し、予算総額を 4,035 万 5,000 円とするもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 令和 3 年度に比べて駐車場の稼働率が減ったが、旅行等による長期的な利用が増えたため、料金収入は増えた。</li> <li>* 精算機の 500 円新硬貨への対応は実施済みである。</li> </ul>
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	議案第 5 号 令和 4 年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計補正予算（第 3 回）について
概 要	今回の補正は、決算を見込んだ調整であり、歳入歳出それぞれ 16 億 8,519 万 9,000 円減額し、予算総額を 246 億 5,648 万円とするもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 重勝式の発売収入が減った要因を分析し、新商品となる 2 重勝単勝式車券と 3 重勝単勝式車券の発売を開始した。</li> <li>* リース料の債務は、令和 8 年度に完済する予定である。</li> </ul>
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

令和5年3月定例会

産業建設常任委員会

議 案 件 名	議案第7号 令和4年度山陽小野田市水道事業会計補正予算(第2回)について
概 要	今回の補正は、決算を見込んだ調整であり、収益的収支の収入では、給水収益等を976万1,000円増額し、収入総額を15億1,022万8,000円とし、支出では、人件費、修繕費等を512万8,000円減額し、支出総額を14億1,535万円とするもの。資本的収支の収入では、2,879万9,000円減額し、収入総額を3億6,836万5,000円とし、支出では、建設改良費等を3,680万2,000円減額し、支出総額を9億4,381万5,000円とするもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	<ul style="list-style-type: none"> <li>*有収率は令和3年度決算における85.36%を見込んでいる。</li> <li>*有収率を改善させるには、老朽化した給水管や排水管を更新し、漏水を減らすことが必要である。</li> </ul>
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

議 案 件 名	議案第8号 令和4年度山陽小野田市工業用水道事業会計補正予算(第2回)について
概 要	今回の補正は、建設改良費や諸経費について決算を見込んだ調整であり、収益的収支の支出では、消費税、人件費等を83万4,000円増額し、支出総額を2億5,408万3,000円とするもの。資本的収支の支出では、建設改良費を1,194万4,000円減額し、支出総額を2,798万5,000円とするもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	*内部留保資金は8億2,280万9,000円で、前年度決算から2,791万3,000円増加した。
討 論	討論なし
結 果	全員賛成で可決

## ■ 委員長報告概要 ■

		令和 5 年 3 月定例会
		一般会計予算決算常任委員会
議 案 件 名	議案第 2 号 令和 4 年度山陽小野田市一般会計補正予算（第 9 回） について	
概 要	今回の補正は、LABV プロジェクト推進事業、国県支出金の精算に伴う償還金等取り急ぎ措置すべき案件に加え、決算を見通しての補正であり、歳入歳出それぞれ 8 億 5, 599 万 4, 000 円を減額し、予算総額を 332 億 9, 665 万 6, 000 円とするもの	
論点又は審査によって明らかになった事項など	<p><b>【歳入】</b></p> <p>○6 款 法人事業税交付金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人事業税交付金 決算を見込み 3, 500 万円増額</li> </ul> <p>○7 款 地方消費税交付金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方消費税交付金 決算を見込み 8, 500 万円増額</li> </ul> <p>○11 款 地方交付税</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普通交付税 追加交付に伴い 1 億 1, 156 万 3, 000 円増額</li> </ul> <p>○19 款 繰入金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財政調整基金繰入金 3 億 7, 020 万 9, 000 円の減額 令和 4 年度末の予算上残高は 43 億 4, 387 万 3, 000 円</li> </ul> <p><b>【歳出】</b></p> <p>○人件費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総務費 職員手当等 1, 006 万円の減額</li> <li>・教育費 職員手当等 416 万 8, 000 円の増額 正規職員の退職予定者数の変更や 3 年間勤務した会計年度任用職員のうち、退職あるいはフルタイムからパートタイムになる約 64 名の退職手当を見込んだもの</li> </ul> <p>（主な質疑）</p> <p>*「今後、フルタイムの会計年度任用職員はいなくなるのか」との質問に「フルタイムの会計年度任用職員もいる」との答弁</p> <p>○2 款 総務費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1 項 9 目企画費 6, 754 万円の増額 旧商工センター跡地の古洞対策工事に要する費用</li> </ul>	

(主な質疑)

\* 「市が負担すべきものは、これ以上ないのか」との質問に「市が出資するものは土地だけと聞いているので、最後と思っているが、確実なことは言えない」との答弁

○3 款 民生費

- ・ 1 項 9 目新型コロナウイルス対策費 6,822 万 8,000 円の減額  
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付の給付件数を 1,200 件と見込んでいたが、支給件数が 685 件だったことなどによるもの

○6 款 農林水産業費

- ・ 1 項 4 目多面的機能支払制度補助金 478 万円の減額  
交付金の内示割れによるもの
- ・ 3 項 3 目工事請負費 1,999 万 9,000 円の減額  
埴生漁港改修工事の当初予算の内示割れによるもの

(主な質疑)

\* 「内示割れとはどういうものか。事業の進捗に影響が出たのか」との質問に「国や県に対して補助金を申請し、満額の補助金が内示されなかったことを指している。内示割れになれば、事業の進捗は遅れる」との答弁

○7 款 商工費

- ・ 1 項 1 目地方バス路線維持費補助金 525 万 9,000 円の増額  
運航実績を踏まえ当初予算との差額を増額するもの  
地方バス路線維持費補助金の国の負担分は、現時点では確定していない。

(主な質疑)

\* 「国の負担分は、交付税措置されるのではないか」との質問に「昨年度は、コロナ禍の関係で、国が特例措置として補助金を増額した」との答弁

【繰越明許費】

- スクールバス安全装置導入事業 30 万円

		<p>送迎用バスの安全装置導入支援について、今年度中の事業完了が見込めないため</p> <p>(主な質疑)</p> <p>*「どこで使われているスクールバスか」との質問に「松原分校と埴生小・中学校である」との答弁</p>
討	論	討論なし
結	果	全員賛成で可決